

こども医療費助成



県、通院も中3まで 対象拡大

日本共産党が
一貫して要求

● 県のこども医療費助成制度

| 通院 | 入院 |
|---|---|
| 小3まで 1医療機関あたり 1日800円まで 月2回までの負担 | 小3まで 定額1割負担 (負担限度額 月額 3,200円までの負担) |
| 小4～小6 7月から中3までに拡大 自己負担額(3割負担)の 1/3を助成 | 小4～中3 自己負担額(3割負担)の 1/3を助成 7月から現物給付に改善 |
| いずれも所得制限あり(世帯合算) | |

みなさんの運動と連携・前進!

「こどもを安心して病院に連れて行きたい」。県民の強い願いを受け、日本共産党はこどもの医療費無料化を一貫して求め続けています。

ついに兵庫県は、今年7月から、通院の医療費助成の対象を現行の小6から中3までに拡大します。入院についても制度を改善し、窓口でいったん全額を支払う必要がなくなります(償還払いから現物給付に)。



▲産業労働部長と懇談する日本共産党県議団と、金田峰生・党国会議員団兵庫事務所長

「雇用と賃上げ」を県に要請

不況克服のカギは、賃金のアップ。働く人の所得が増えれば個人消費と国内需要を活性化させることができます。

日本共産党は、大企業の内部留保260兆円のほんの1%の取り崩しで、月1万円程度の賃金アップが可能になることを示したアピール「賃上げと安定した雇用の拡大で、暮らしと経済を立て直そう」を2月に発表。県にも、県民の所得引き上げに積極的に取り組むよう申し入れを行いました。

こどもを一人の人間として大切に 「いじめ問題」で県教委に申し入れ

「いじめ自殺」に、多くの人々が心を痛めています。日本共産党は、「いじめ」のない学校と社会を一日本共産党の提案を発表し、目の前の「いじめ」から、子どもたちのかけがえのない命を守り抜くことと、根本的な対策として、子どもたちに過度のストレスを与えている教育と社会の改革に着手することを提案。教育関係者と懇談を進めています。



▲県教育委員会教育次長らと懇談する日本共産党県議団と、金田峰生・党国会議員団兵庫事務所長

県下11市町で中3まで無料化実施

- 県の制度に上のせして11市町が実施しています
- 西宮市 ●小野市 ●相生市 ●赤穂市
 - 市川町 ●福崎町 ●加西市 ●佐用町
 - たつの市 ●神河町 ●加東市
- 2013年1月時点

ひきつづき 所得制限も一部負担もない
中3までのこども医療費
無料化に力を合わせましょう

県下の11市町が、県制度に上乗せして中3まで無料化(左記)。どこに住んでも安心して子育てができるようにするために、群馬県のように、県の施策としてこども医療費の無料化が必要です。日本共産党は、所得制限も自己負担もない完全無料化をめざして、こいつしよにがんばります。



▲「中3まで医療費無料に」とパレードする女性たち(昨年6月)

日本共産党

兵庫 県会報告

発行所 日本共産党兵庫県議員団
神戸市中央区
下山手通5丁目10-1
(078) 341-7711 内線5251
2013年春季号(第152号)

県会議員団

検索

兵庫県議会議員 健康福祉常任委員

きだ 結 ゆい

1970年生まれ。神戸女子薬科大卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者支援。2011年4月県議会議員に初当選。健康福祉常任委員。保育所父母の会会長をつとめる。渦森台在住。家族は夫、小学生の女の子2人。



ブログ きだ結

検索

請願に対する各党の態度

| | 共産 | 自民 | 民主 | 公明 | みんなの党 | 結果 |
|--|----|----|----|----|-------|-----|
| ●妊婦健診とヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を求める意見書提出の件 | ○ | × | × | × | × | 不採択 |
| ●年金の2.5%の削減中止を求める意見書提出の件 | ○ | × | × | × | × | 不採択 |
| ●生活保護基準引き下げをしないことを求める意見書提出の件 | ○ | × | × | ○ | × | 不採択 |
| ●借り上げ復興住宅への継続入居と「検討協議会」の公開を求める件 | ○ | × | × | × | × | 不採択 |
| ●国の責任による少人数学級の前進を求める意見書提出の件 | ○ | × | × | × | × | 不採択 |

(今議会に各団体から提出され、審議された請願5件と継続1件。自民・民主・公明・みんなの党などが反対し「不採択」。切実な県民の願いが踏みにじられました。)

○:採択 ×:不採択

日本共産党の 提案みのる

拉致被害者を一刻も早く救出するための交渉強化を求める意見書可決

拉致被害者の一刻も早い救出が強く求められています。県議会で日本共産党は、政府に対し、被害者救出のため北朝鮮との交渉強化を求める意見書案を提案。全会一致で可決されました。